

災害時に命を守る一人ひとりの防災対策

参考:「災害時に命を守る一人ひとりの防災対策」(政府広報オンライン) (<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201108/6.html>)を加工して作成

地震や津波などの自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。しかし、日頃から防災対策をしておくことで、被害を少なくすることはできます。

防災対策で重要な「自助」とは？

災害による被害を少なくするためには、**一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」**が重要です。その中でも基本となるのは「自助」。自らの命は自らが守る意識を持ち、一人ひとりが自分の身の安全を守ることで。まずは**自分が無事であることが最も重要**です。

「自助」に取り組むためには、**水や食料などの災害の備え**をしておくことが大切です。



災害の備え

災害時に備えた備蓄品の例

- 飲料水…一人1日3リットルを目安に、3日分を用意
- 食品…ご飯(アルファ米など一人5食分を用意)、ビスケット、板チョコ、乾パンなど、一人最低3日分の食料を備蓄。
- 下着、衣類
- トイレットペーパー、ティッシュペーパーなど
- マッチ、ろうそく
- カセットコンロ



※非常に広い地域に被害が及ぶ可能性のある南海トラフ巨大地震では、「1週間分以上」の備蓄が望ましいとの指摘もあります。
※飲料水とは別に、物を洗ったり、トイレを流したりするための水も必要です。日頃から水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつもはっておくなどの備えをしておきましょう。

感染症対策に使用する衛生用品の例

- マスク
- 手指消毒用アルコール
- せっけん、ハンドソープ
- ウェットティッシュ
- 体温計



非常持ち出し品の例

- 飲料水
- 食料品…カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど
- 貴重品…預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など
- 救急用品…ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など
- ヘルメット、防災ずきん
- マスク
- 軍手
- 懐中電灯
- 衣類
- 下着
- 毛布、タオル
- 携帯ラジオ、予備電池
- 使い捨てカイロ
- ウェットティッシュ
- 洗面用具
- 乳児のいる家庭はミルクや紙おむつ、ほ乳びんなど



日頃から家族で**安否確認方法**や避難時の**集合場所**なども話し合っておきましょう。

レンタルのニッケン

ホームページでも最新情報をお届けしています。是非ご覧ください。

レンタルのニッケン 検索



安全ニュースのご活用についてお願い

弊社は皆様の安全作業に関するよりよい情報をご提供するため、安全ニュースの製作・配布に取り組んでおります。下記、ご理解いただき、ご活用いただけますようお願い致します。
●安全ニュースの一部または全部において、個人・法人を問わず、弊社および引用先(各種団体など)の許諾を得ずに、いかなる方法においても、営利目的にて、無断で販売・複写・複製・貸貸・加工・加筆および、公衆送信(インターネットやそれに類した送信)などを利用して提供することを禁じております。
●弊社は、本紙の内容において如何なる保証も行いません。
●本紙内容にて発生した障害および事故についても、弊社は一切責任を負いません。

レンタルのニッケン 公式 情報発信中!



フォロー
宜しく
願います!



安全ニュースで取り上げて欲しい題材やご意見ご要望などがございましたらeメールをご活用ください **e-mail : nikken@rental.co.jp**

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

お客様の安全作業のために。

レンタルのニッケン

安全ニュース

Safety news

編集・発行 株式会社レンタルのニッケン 安全技術部／営業企画部

お問い合わせ TEL.03-6775-7811

2024年
8月号

No. 272



特集 防災週間(事前の準備)

- 関東大震災から101年を迎えて
- 大規模地震から企業を守るために
- 地震火災対策について
- 災害時に命を守る一人ひとりの防災対策

2024年
9月号の予告

全国労働衛生週間

8月30日~9月5日は「防災週間」です!

9月1日は
「防災の日」

参考:「関東大震災100年」特設ページ(内閣府 防災情報のページ) (<https://www.bousai.go.jp/kantou100/>)を加工して作成

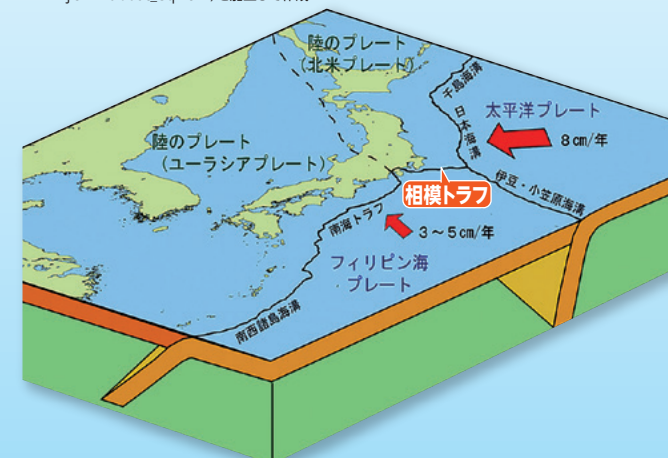
関東大震災から101年を迎えて

1923年9月1日11時58分に発生した関東大震災は、首都圏に未曾有の被害をもたらした、災害史において特筆すべき災害です。その発生日が「防災の日」と定められているように、近代日本における災害対策の出発点となりました。

関東大震災について

相模湾北西部を震源とし、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県で震度6以上を観測したほか、北海道道南から中国・四国地方にかけての**広い範囲で揺れを観測**し、10万棟を超える家屋を倒潰させました。また、発生が昼食の時間と重なったことから、**大規模な延焼火災**に拡大しました。

参考:「地震発生のしくみ」(気象庁) (https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/jishin/about_eq.html)を加工して作成



関東大震災は、相模トラフを震源とする**海溝型地震**です。東京での大火災による被害が大きかったため、東京の地震だと思われる方が多いですが、神奈川県から千葉県南部を中心に震度7や6強の地域が広がっており、その**範囲は、1995年の阪神・淡路大震災の10倍以上**に達します。

首都直下地震や南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震など、大規模災害のリスクに直面する私たちに、示唆や教訓を与えてくれています。



★ ホームページにも掲載しております！是非ご覧ください。★

地震火災対策について

参考:「地震火災対策について」(総務省消防庁) (https://www.fdma.go.jp/publication/ugoki/items/rei_0212_04.pdf)を加工して作成

地震火災について

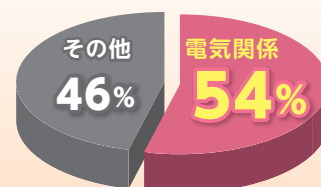
大規模な地震が発生した際は、多くの場所で火災が同時に発生するおそれがあります。消防力が不足すると消火活動が困難な状態となり、住宅密集地などでは大規模な火災につながる危険性が高くなります。

近年の大規模地震発生時において 電気に起因する火災が多数発生！

東日本大震災における本震の揺れによる火災では、原因が特定された内の過半数が電気に起因したものでした。



東日本大震災における 火災の発生原因



地震火災を防ぐ主なチェックポイント

地震火災を防ぐためのポイントを、地震発生前後のフェーズごとにまとめましたのでチェックしてみましょう。

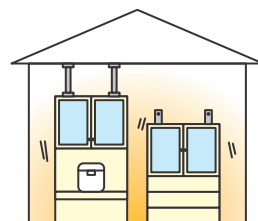
地震火災を防ぐポイント ～地震火災対策、きちんとできていますか？～

詳しい内容は右記
QRコードよりご確認頂けます。
リンク先:「地震火災対策について」
(総務省消防庁)



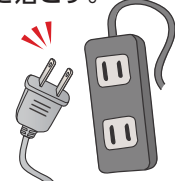
事前の対策

- ☐ 住まいの耐震性を確保する。
- ☐ 家具の固定等、転倒防止対策を行う。
- ☐ 暖房機器の近くに可燃物を置かない。
- ☐ 消火器等の設置、使用方法を確認する。



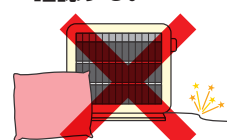
地震直後の行動

- ☐ 停電中は電気器具のスイッチを切り、電源プラグを抜く。避難時はブレーカーを落とす。
- ☐ 石油器具からの油漏れがないか確認する。



地震発生からしばらくして (電気やガスの復旧、避難からもどったら)

- ☐ 使用再開時にガス・電気・石油器具に破損がないか。近くに燃えやすいものがないか確認する。
- ☐ 再通電後、電気器具に異常がないか確認する。



大規模地震から企業を守るために

参考:「企業の防災対策・事業継続強化に向けて～切迫する大規模地震を乗り越えるために～」(内閣府) (https://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyuu/pdf/pamphlet_231212.pdf)を加工して作成

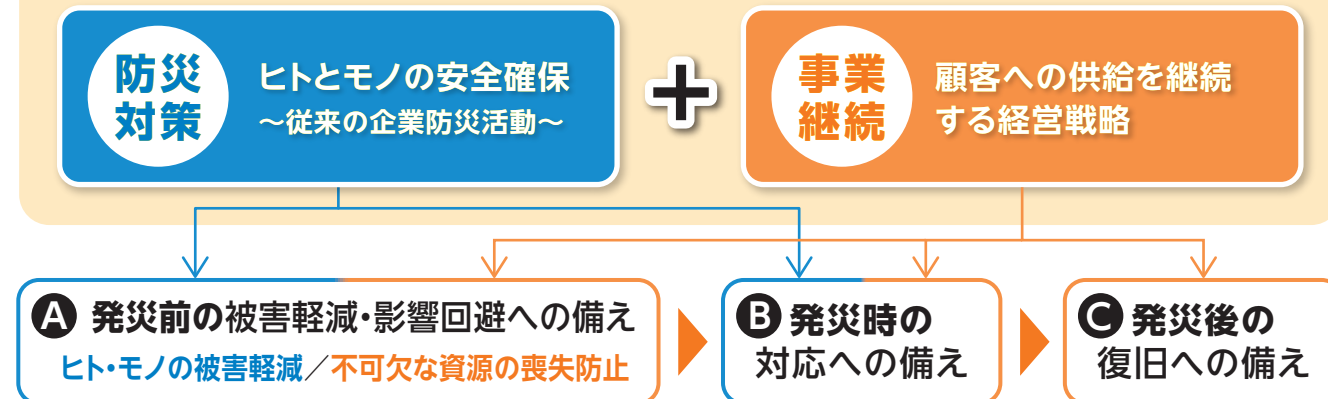
企業における防災の取組(≡事前の備え)とは

企業の事業活動は、主に「ヒト・モノ・カネ・情報」の4つの経営資源に支えられています。企業における防災の取組とは、災害発生時にその経営資源を守り事業活動を継続・復旧させることを目的とした事前の災害対策であり、「防災対策」「事業継続」の大きく2つの取組があります。

企業	ヒト	(従業員／家族等)
	モノ	(建物／設備／機器等)
	カネ	(運転資金／保険等)
	情報	(データ／システム等)

防災の取組(≡事前の備え)

<イメージ>



防災対策の重要性 ～主にヒト・モノを守る行動～

防災の取組は、生命の安全確保(ヒト) と物的被害(モノ)の軽減を目的としています。備えが出来ているか確認しましょう。

